

1 土壌改良資材の施用

- ・土壌中のケイ酸や加里が減少し、目標値を下回っている圃場が多くなっています。
- ・目標の土壌 pH (6.0～6.5) に矯正するため、確実に 100kg/10a 施用しましょう。

＜主な土壌改良資材の成分と標準施用量＞

資材名	施用量 (kg/10a)	成分 (%)			
		ケイ酸	苦土	アルカリ	加里
加里入りシリカエールプラス	100	23	5	41	3
シリカエールプラス※	100	25	5	43	—

※加里を補うため、翌年の6月中下旬に「ケイ酸加里プレミアム 34」等、中間追肥を散布しましょう。

2 有機物の施用

① 堆肥施用

加里も補給
できます！

堆肥名	施用量 (kg/10a)			
発酵けいふん	乾田	150	半湿田	100

② 緑肥作物

作物名	播種量 (kg/10a)	播種時期
ヘアリーベッチ	3～4	水稻刈取後～10月中旬

※「緑肥作付け」には市やJAの助成があります。

3 秋耕の実施

- ・水稻収穫後からひこばえが出穂する前、遅くとも地温の高い10月までに、深さ10cmを目安に秋耕を行いましょう。
- ・秋耕後には排水溝の設置等により圃場の渴きを促進し、稲わらやもみ殻の腐熟を図りましょう。

＜秋耕の効果＞

- ・稲わらやもみ殻等有機物の補給
- ・翌年水稻作付時の漏生稲とワキの発生防止
- ・越冬前の斑点米カメムシ類の密度低減
- ・ニカメイチュウの発生密度の抑制



写真 中生圃場で発生した早生の漏生

4 大豆作付予定地の排水対策

- ・水稻収穫後、速やかに額縁排水溝を設置するとともに、サブソイラによる心土破碎を行い、圃場の透水性を改善しましょう。

8月20日～10月20日は「秋の農作業安全運動」実施中！！

9月15日～11月15日は「秋の土づくり運動期間」、10月1日は「土の日」です。

【お問い合わせ先】

JAいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478

JAいみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>